

巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

塩谷恵策 SJ

28

第八幕 第3場

1522年

マンレサのドミニコ会修道院

登場人物：	巡礼者	イニゴ・デ・ロヨラ
	ドミニコ会修道士	ホセ・エルナンデス
	マンレサの婦人たち	イニェス
		ホアナ
		マルガリータ

【語り】 マンレサ滞在中に行った我武者羅な苦行のせいか、イニゴは激しい腹痛、胸の痛みを経験し、洞窟からドミニコ会の修道院の一室に運ばれ介護を受けました。

エルナンデス修士：昨夜は熱も高く一晩中苦しそうでした。

今朝はどうですか？

イニゴ：一晩中ついていてくださったのですか？有難うございました。まだ骨の節々が痛み、体中がだるいですが、昨夜よりはましです。

エルナンデス修士：夜中に何か叫んでいたのです、見に来たのですが、何か怖い夢でも見ていたのですか？

イニゴ：夢ではなく今も覚えているのですが、ある考えが起こってきて苦しい思いをしました。怖い考えではなく、「自分は義人だ」という思い上がった考えが起こり、打ち消しても、打ち消してもやまないのです。

エルナンデス修士：そうでしたか。あまり真正面から戦ってもかえって募るばかりでしょう。そういう考えが起こっても相手にしないのが一番いいでしょう。

ところで、数人のご婦人が見舞いに来ていますが会いますか？昨日も来られたのですが、あなたがあまり苦しそうでしたので帰っていただきました。

イニゴ：そうでしたか？では少しだけお会いしましょう。

(エルナンデス修士が出ていき、しばらくして三人の婦人が入ってくる。)

イニェス：ああ、お目覚めですね？昨日は眠っていらっしやいましたが、お苦しそうでした。一昨日の木曜日ちょっと覗いたときも、目を固く閉じていらっしやいました。

イニゴ：そうでしたか？ところでおとといが木曜日？ということは今日は土曜日なんですか？胃のあたりが猛烈に痛くなったのが火曜日でしたが、その後のことをよく覚えていないんです。もう4日も経ったんですね。

イニェス：4日間私たち 随分心配しました。

ホアナ：苦行が過ぎたのでしょうか？もう少しご自分をいたわらなければ。

マルガリータ：これに懲りて、無理をしすぎないでくださいね。

【黒い使いの合唱】

♪イニゴよイニゴ 聖人よ お前は全く 立派だよ
ご婦人たちも 尊敬する 立派な義人 聖人だ

イニゴ：(叫ぶように) また来たのか、うるさい奴め。

私は義人どころか大罪人だ。あっちに行け。二度と戻ってくるな！！

(婦人たちに) 私が昨日のように危なくなったら、私の耳元で叫んでください。「あなたの騎士時代の、数々の罪を思い出さない。あなたは義人などではありません。神の前で、恥を知りなさい。」と。

ホアナ：そんなに興奮なさったら、お体に障ります。

ああ、ああ、こんなに汗をかいて！

イニェス：何も考えないで ゆっくりお休みください。

私たちは、これでお暇しましょう。

【語り】それから 数日安静にしたイニゴは、一命をとりとめたものの、
この後生涯にわたって度々胃腸や内臓の激しい痛みに悩まされるの
でした。*8

<かげの声=註> *8

イグナチオ（イニゴ）自身のこの経験から、賢明さを欠く過度の苦行によ
って健康を損なうことのないように、イエズス会員が苦行をしようとする
際には、靈的指導者と相談し、適度な苦行をするよう指示を与えている。